

第 33 回 V・ファーレン長崎支援会議事録及び要望・報告

V・ファーレン長崎支援会

会長：大山昇

日 時：6月24日（火）19：00～21：00

場 所：長崎市市民会館第5会議室

参 加：菊次勉、竹村栄哉、田上渉（V・V長崎）、大山昇、藤原裕久（支援会運営委員）

一般参加6人 参加合計 11人

V・ファーレン長崎よりの報告

6/15のホームゲーム後の撤収作業へのボランティア協力ありがとうございました。また、翌日のホームタウン清掃活動についても本当にありがとうございました。6/29のナイトゲームでも是非協力をお願いしたいと思います。チームの方は選手、監督の頑張りによってJ2残留が見えてきたかなと思っております。これからは次の段階を見据えていかなければならないと思います。また所属選手のマイケルが日本人に帰化致しました。運営面でございますが、集客・駐車場問題が課題となっております。ボランティア体制の再構築についても協力をいただければと思っております。今後もよろしくお願い致します。

（V・ファーレン長崎 菊次）

支援会よりの報告

・宮城県伊里前商店街へのフラッグ寄贈

クラブ、選手会協力の許で支援会・ウルトラ・諫早市役所サッカー部よりクラブフラッグ2枚を同商店街へ寄贈。

協議・質疑応答内容

■6/15 ホームゲーム撤収作業参加について

「6/15 ホームゲーム撤収作業」

6/15のホームゲームがナイトゲームで高校生ボランティアを早く撤収させる必要があるとの事で、撤収作業参加の依頼がクラブから支援会へあり、支援会が主体となりつつ観客にも参加を呼びかけて実施。

→合計で60名近くが参加。男性がピッチ看板撤去、女性がスタジアムの清掃を行った。男性陣の作業は比較的スムーズであったが、女性陣はクラブの対応・指示共に不明確で不満も出ていた。クラブスタッフも本活動を把握しておらず混乱もあった点を改善して欲しい。（支援会 企画リーダー 福島美由紀）

→クラブ側の対応が足りずに迷惑をかけた。今後も協力をお願いしたいので改善していきたい。また、クラブが公式ホームページを使って参加を呼びかけていきたい。（V・ファーレン長崎 竹村）

■6/16ホームタウン清掃活動～わたしたちに出来ること～について

「第4回ホームタウン清掃活動～わたしたちに出来ること～」

6/15の公式戦翌日の日曜日にスタジアム及び周辺をサポーターとクラブスタッフで合同清掃。備品はクラブと支援会が負担し6月16日の昼から開始。

→25名ほどが集まり、スタジアム外周、駐車場、諫早駅からスタジアムまでの道路の3箇所に分かれて清掃を行った。オーセンやクラブのTシャツを着ていると多くの人から声をかけられ好意的だった。ただし、炎天下では昼間の活動は負担が大きく時間帯を変える必要性を感じた。また、募集の告知でクラブに協力して貰いたい。ボランティア同士で集まるのが楽しいという声もあった。今後も継続していきたい。(支援会 企画リーダー 福島美由紀)

■スタジアム清掃活動の「マナーアップキャラバン(仮)」について (*継続審議)

「マナーアップキャラバン(仮)」

ホームゲーム時、来場者へゴミ袋(支援会負担)を配布し席周辺のゴミを入れてゴミ集積場まで持ってきてもらう。

→本活動は支援会が主体的に行うと言うより、広く観戦者に呼びかける運動にしていきたい。支援会がやるのではなく、支援会でマナーアップの企画や告知の方法を考えて提案という形が良いのではないかと。(支援会 藤原)

→実際に清掃や撤収作業に参加して思ったがやはり、ゴミが観客席に出ている。特に問題なのが汁物で、ファジアーノ岡山やヴィッセル神戸では通常のゴミ捨て場以外に「汁物を捨てる場所」があった。(一般参加者)

→松本山雅はドラム缶を設置して汁物を捨てていたが、見た目が悪く匂いなどでも問題があった。汁物となるとリングーハットさんはちゃんぽんを扱っているので、汁物の処分方法は詳しいのではないかと。(一般参加者)

■スタジアム内での観客席の管理・監督について

→スタジアムでマナーが悪い観客がいるのを見かけるが放置していて良いのか?S席などでも選手が近くに来ると後の席の観客が最前列に座っている観客の前に立って写真を撮ったりしている。固定席なのだから通常のコンサートなどの興行ではマナー違反だ。しかし、クラブスタッフが誰も居ないので注意もない。(一般参加者)

→バックスタンドでも試合が終わって選手が挨拶に来る時に後の席の人たちが一気に最前列に出てきて、割り込みなどもあっていて。でもスタッフが周囲にいないのでマナー違反がまかり通っている。(一般参加者)

→将棋倒しなどの事故が起きたら大変な事になるのではないかと。(一般参加者)

→今の状態では事故が起きる可能性もあるので改善する必要があると感じています。S席、A席についてはサービス内容に苦情も来ているので対処していきたいと思っています。(V・ファーレン 田上)

■サクセスパートナー制度について（継続審議）

「新大工商店街の空き店舗対策」

商店街内の空き店舗を助成金で賃貸し色々な団体に貸し出す。貸し出しに際しテナント料は不用。売り子等の人件費は当事者負担。期間は8月～11月。テナントの場所は商店街の旧マクドナルド跡。申し込みがあればすぐに使える。

→スタッフと常駐させる必要がありますがグッズ販売自体は可能です。（V・ファーレン 田上）

→現在のサクセスパートナー制度自体はどうなっているのか？（支援会 藤原）

→現在、3つの商店街とサクセスパートナー制度を締結していて4つ目と交渉中です。しかしサクセスパートナー制度自体にあいまいな部分も多くクラブが何が出来るかを考えていく必要があると思います。（V・ファーレン 竹村）

→8/2・3・4日に夏祭りが集中している。8/2、3日のイベント参加はどうなっていますか？（支援会 藤原）

→島原、新大工、諫早駅前で既に申し込みが入っていて、もう一つ入る可能性もあります。ホームゲーム前日なので選手の派遣は難しいと思います。また商品の提供も求められています。チケットを商品として提供するのは可能ですが、直近のゲームのチケットになるので扱いが難しいかもしれません。（V・ファーレン 竹村）

→8/2、3、4のイベントで協力出来る事があれば行いたいし、新大工商店街から以前に支援会が行った記念展的なものを開催する事を検討して欲しいと言われているので、クラブの要請があれば協力したい。（支援会 藤原）

■公式ツアーなどについて（継続審議）

→アウェイツアー開催が長崎バス観光でも始まっていたが、同じ公式ツアーなのに値段や内容に違いがある。特に値段が違うのは問題ではないか？また、同じ試合に2つの業者がツアーを組むのは良いのか？（一般参加者）

→私も何の連絡もなく長崎バス観光さんでもツアーが始まっていて驚きました。（タビックス担当者）

→公式ツアーの実施は単独業者が請負うケースと、複数の業者が請負うケースがある。複数の業者が請負う場合は、クラブが仲介に立って各業者にツアーを割り振って競合状態にならないように住み分けるのが普通。その場合は申し込み窓口も「アウェイツアー企画室」として一本化するのが原則。今回のように同じ内容の公式ツアーを2つ別々の業者が行うのは珍しい。競合させれば値引き合戦などの不毛な競争になりがち。（支援会 藤原）

→メールマガジンの告知を見てアウェイツアーが2つ始まっていて驚いた。松本山雅などは遠隔地はJTB、近場は地元バス会社とキチンと分けている。何も知らない人が長崎バス観光さんへの苦情をタビックスさんへ持ち込んだり、タビックスさんへの苦情を長崎バス観光さんへ持ち込むのではないかとちょっとヒドイと思う。（一般参加者）

→住み分けなども含めて今後検討していきたいと思います。（V・ファーレン 竹村）

（議事録 以上）

第32回V・ファーレン長崎支援会からの要望・報告

第32回支援会からの要望と報告です。ご対応をお願いします。次回支援会、又は運営会議でのご回答をお願いします。

■＜提案＞ 清掃活動「マナーアップキャラバン（仮）」について

要約：マナーアップキャラバンについては継続審議する事になりました。

「マナーアップキャラバン（仮）」

ホームゲーム当日に来場者にゴミ袋を配布し試合後に席周辺のゴミを集めてもらい、ゴミ集積場へ運ぶ。

（現在確定事項）

日時：毎ホームゲーム時 **備品：**ゴミ袋（支援会で準備分とコンビニ袋持参を呼びかける）

下記についての検討をお願い致します。

- ・汁物のゴミについての処分方法の確認

■＜要望＞ ホームゲーム撤収活動について

要約：ナイトゲームでのスタジアム撤収作業のボランティアについて、連絡・告知・対処の徹底をお願いします。

本活動を行った際、クラブスタッフが参加者に十分に説明を行わない為に企画リーダーの指示を参加者が無視したり反発するなどの事態が起きました。企画リーダー自身の口からでなく、クラブから説明が無ければ企画リーダーが孤立します。

また、クラブスタッフ自身がどの作業をどの程度任せるかなどを理解していない為に、混乱がありました。特に女性側でそれが頻発したようです。クラブが協力や参加を呼びかける以上は、受け入れ態勢をしっかりと整えてください。

下記について要望致します。

- ・クラブの参加者募集告知を必ず行うようお願いします。
- ・支援会で企画リーダーを設定した場合は、活動開始前にクラブスタッフより企画リーダーの指示に従うよう説明をお願いします。
- ・クラブ内でボランティアを受け入れる体制を整えるようお願いします。

■＜要望＞スタジアム内での観客席の管理・監督について

要約：スタジアム内で観客のマナーについてクラブの管理・監督をお願いします。

S席、A席、バックスタンドの至る所で割り込みなどのマナー違反が起っています。特に選手が席の近くに来ると後方の席の観客が最前列に押し寄せて、最前列の観客の前に立つ、通路を塞ぐなどが常態化しつつあります。しかしクラブスタッフ、ボランティアスタッフが注意する事ありません。これでは快適な観戦どころか事故の可能性もあります。クラブのしっかりとした管理・監督をお願い致します。

■＜提案＞サクセスパートナー制度について（継続審議）

提案：サクセスパートナー制度を再設計する事を提案いたします。

サクセスパートナー制度は支援会の協議の場より生まれたホームタウン連携事業です。しかし、クラブ側担当者の退職などにより同制度の発展が停滞しています。そこで再度、支援会で制度設計を行いたいと思います。

■＜提案＞公式ツアーなどについて

提案：公式アウェイツアーの運用ルール設定をご提案いたします。

先日のアウェイ北九州戦より長崎バス観光のアウェイツアーが開催されましたが、アウェイツアーはタビックスでも行われています。同じ試合へ同じ出発地から出る公式アウェイツアーが2社で同時運行されるのは極めて稀な事例です。受付日時を多少ずらしていますが、タビックスと長崎バス観光が完全に競合した状態です。本来は2社間にV・ファーレンが入って協議を重ねるべき案件で、ツアーを割り振って住み分けるなどの対処が必要です。実際にアウェイツアーでは長崎バス観光とタビックスで料金に差があるなど、完全に公式としての統一感のない運行となっていました。このような野放図な状態では持続的なツアーの発展は望めません。しっかりとした対処と方針を打ち出すようお願い致します。

次回支援会日程

第34回支援会長崎支部会 7月22日（月）19:00～21:00 長崎市市民会館第5会議室

第10回支援会諫早部会 8月6日（火）19:30～ 諫早市社会福祉会館

V・ファーレン長崎支援会運営部